

園だより 2026年7月号

今年度の夏野菜栽培は、ゴーヤにチャレンジです。
みんなで苗の植え付けをしました。ぐんぐんとツルが
伸びているゴーヤ。水やりのお世話を子ども達として
います。収穫できれば給食でいただく予定です。

これから気温・湿度ともに高くなる季節。体調管理
に気を付けてまいります。 (記・大國さおり)

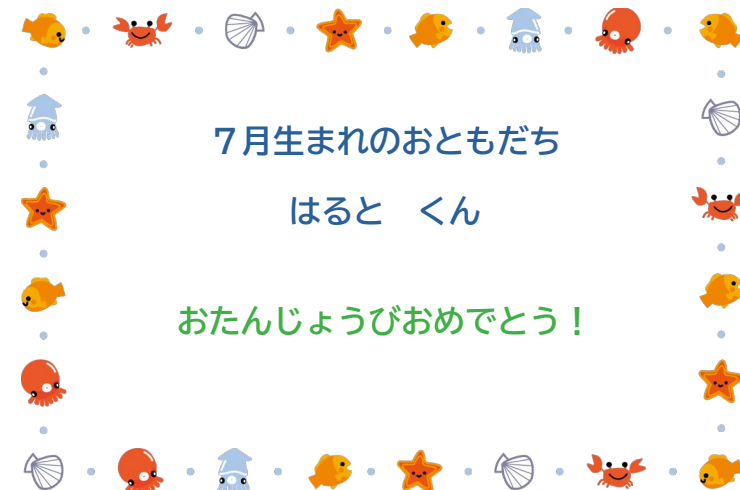
■個人懇談のお知らせ

平素より、送り迎えの際にはスタッフがお子様の様
子などをやりとりさせていただいていますが、お尋ね
したいことなどありましたら、園長または理事による
個人懇談も随時賜っています。

スタッフにお伝えいただくか、お電話(0798-
20-1655)またはホームページ入力フォームで
お気軽にご連絡ください。(都合により日時調整させ
ていただく場合があります)

■今月の予定

- 7日(火) 身体測定
七夕
- 10日(金) 食育「梅干し」
- 14日(火) 保健「歯」
- 24日(金) お料理「ゴーヤチャンプル」
- 27日(月) 避難訓練「洪水」



言葉を手渡す

東京都の豊玉保育所園長・浅村都子先生のお話を拝聴する機会がありました。保育園全体で大切にしていることの一つに、「子どもの背中に向けて言葉を投げるのではなく、子どもの目を見て言葉を手渡す」というものがありました。「投げる」と「手渡す」では、大きく印象が違います。

書籍『3000万語の格差 赤ちゃんの脳をつくる、親と保育者の話しかけ』(ダナ・サスキンド著)の中で、大人が子どもに離す言葉の数や、どんな言い方で話すが、その後の子どもの人生に影響すると書かれています。語彙力・会話力だけでなく、社会的・感情的・認知的発達の基礎作りも促します。

言葉の数や質は大切ですが、それ以上に愛情豊かな環境が重要です。
時々、ご家庭のデジタル機器の電源をOFFにして、お子様との会話や絵本の
時間を増やしてみたいかがでしょう。愛情豊かな素敵な言葉が、たくさん
子ども達の耳に届くことを願います。

